

多文化共生社会をめざして

# あおもり 国際交流つうしん

AOMORI INTERNATIONAL EXCHANGE JOURNAL

2025.12

No.

158

Winter



「青森県国際交流ふれあいフェスタ」でタイの踊りを披露する青森中央学院大学の留学生

## CONTENTS

- 1 シリーズ：青森で働く（北日本造船株式会社）
- 2 多文化共生
- 3 取組報告
- 4 お知らせ
- 5 外国人相談窓口／世界で異なる表現
- 6 JICA特集 青森から世界へ

# 青森で働く

私は小さい頃から日本に興味があり、インドネシアの大学では日本語学科に進みました。日本に留学したかったのですが、コロナのせいで行くことができませんでした。その後、インドネシアの日本企業に就職しましたが、日本に行きたいという気持ちはずっとありました。そんな時、大学の先生から日本での仕事の情報をもらって応募しました。それが今の会社です。

出身はインドネシアのチレボン市というところです。海が近い環境や人口など八戸とよく似ています。どちらも大都会ではないけど、必要なものは揃っていて生活しやすいと思います。

私の仕事は技能実習生などのケアをすることです。現場で通訳をしたり、病院へ付き添ったりもします。人間関係のトラブルなど、気を使う時もあります。丁寧に、たまに厳しく話をすることもあります。

休みの日は、交流会やイベントに参加します。SNSをよく見ますし、日本語教室の先生や知り合いがいろいろな情報を教えてくれます。家の周りをランニングしたり、実習生のみんなとフットサルをしたりもします。今年から会社の中に色々なサークルや部活ができました。地元の小学生と実習生のチーム同士で、フットサルの交流会もしました。実習生の中には、日本人の同僚と一緒に、釣りなどに行く人もいます。

私は高校の時から「日本に行きたい」と言っていたので、家族は当たり前のように応援してくれていますし、弟も海外で仕事をしたいと考えてい

北日本造船株式会社

(八戸市)

アルフィアノ・アディ  
ティヤ・ファウジさん

インドネシア出身

2023年9月から勤務



作業前の打ち合わせの様子  
(右手前がアルフィアノさん)



今年初参加した八戸三社大祭

るようです。メッセージのやり取りはしていますが、ビデオ通話はあまりしていません。SNSで地元の友達が集まったり、誰かの結婚式で楽しそうな様子を見るとちょっと寂しくなったりしますが、大きなホームシックはありません。

今は日本語を学ぶ機会が十分にあります。日本語教室にも通っていますし、日本語で会話するコミュニティにもオンラインで参加しています。

遠い未来のことはあまり考えていませんが、このまま日本にいるとすれば、インドネシアと日本のかけ橋になるようなことができればいいなと思っています。

## 総務課長代理 本波 泰芽さん



インドネシアからの実習生は5～6年前から受け入れています。当初はまだ通訳がいなかったので、意思相通がうまくできずトラブルになることもありました。今年は、約30名の実習生が初めて八戸三社大祭に参加して、町内の方と一緒に山車を引きました。アルフィアノさんのように、地域と積極的に関わる技能実習生、特定技能生が増えて、長く日本で働いてくれると雇用の安定や地域の活性化にも繋がっていくと思っています。

## 青森県外国人材雇用サポートデスク

10月1日（水）、青森県はアスパム2階国際交流ラウンジ内に「青森県外国人材雇用サポートデスク」を開設しました。

外国人材の活用を目指す県内企業の雇用を支援することを目的としています。

このサポートデスクの運営を受託した東洋ワーク株式会社に話を聞きました。

「少子化による担い手の減少、若者の県外流失に伴う労働力不足などに悩む企業が増える中で、外国人材の採用に関する手続きやノウハウについて相談できる窓口です。現代の多様化時代の中で人材採用は多岐にわたり、その選択肢のひとつとして外国人材雇用をサポート、お手伝いします。

窓口での対面対応のほか、遠隔地の事業者のためにコーディネーターが訪問する巡回相談、各種会議や研修などに講師を派遣することもできます。対応は予約優先で無料で行います。」



青森県外国人材雇用サポートデスクの開所式の様子

開設時間 / 平日 10:00~17:00

予約優先・無料

相談予約は右記二次元コード

またはEmail

[aomori-support@toyowork.co.jp](mailto:aomori-support@toyowork.co.jp)



## 青森県国際交流ふれあいフェスタ

11／16（日）

11月16日（日）、青森市のサンロード青森で、県主催による「青森県国際交流ふれあいフェスタ」が開催されました。

会場には、国際交流や多文化共生に関心のある方から買い物に来た家族連れなど、たくさんの方が来場しました。

午前は各国の踊りや音楽イベントを行い、午後はトークセッション、じゃんけん大会、各国クイズなどで会場は大いに盛り上りました。



アメリカ・オーストラリア・イギリスの英語の違いを比べました



ミャンマーの踊り



春聯（シュンレン）製作体験



韓国民俗音楽の演奏

体験展示コーナーでは、青森市や県の国際交流員によるワークショップやゲームができるブースのほか、青森中央学院大学の留学生が、母国の遊びを紹介して一緒に体験するブースもあり、楽しそうな笑い声が響いていました。当機構のブースでは交流型日本語教室や外国人相談窓口のPRを行いました。県内に住む外国人が訪れ、「相談できる場所があるのを知らなかった」「日本語教室に行ってみたい」という声を聴くことができました。

## 交流型日本語教室 十和田市

9／14（日）

十和田市で2回目となる日本語教室を開催しました。今回は午前・午後の2回、交通ルールをテーマにして行いました。ベトナム、インドネシア、中国の学習者の方たちと、地域に住む方を中心とした日本語パートナーがペアになり楽しく日本語を勉強しました。参加した学習者からは次回を希望する声が聞かれ、ペアになったパートナーと記念撮影するなど、日本語学習はもちろん、交流を楽しむ様子が見られました。3月には次の開催を予定しており、さらに日本語学習の輪が広がっていくことを期待しています。



日本語パートナーと一緒にワークシートに取り組む学習者

## 日本語パートナー養成講座 青森市

10／12（日）～10／13（月・祝）

10／12（日）・10／13（月）の2日間、青森市で「日本語パートナー養成講座」を開催しました。やさしい日本語や傾聴について「外国人だけではなく、高齢者や障がいを抱える人とのコミュニケーションにも役立つ内容だった。」などの感想が寄せられました。2日目の実践「交流型日本語教室」では、青森市危機管理課の協力のもと、災害や防災について外国人学習者と一緒に学びました。青森市のほか、弘前市、八戸市からも受講者が集まり、18名の方が日本語パートナーとして当機構に登録されました。



やさしい日本語について説明を受ける受講者

## 青森県日本語指導サポーター スキルアップ講座

11／2（日）

青森県日本語指導サポーター・日本語パートナーの方と地域の日本語教育に携わる方を対象に「青森県日本語指導サポータースキルアップ講座」を実施しました。今回は青森大学客員教授の坂本正氏による基調講演や交流型日本語教室を実施している自治体担当者のパネルディスカッション、さらには青森大学、青森中央学院大学からの研究発表など、盛り沢山の内容となりました。最後には参加者同士の交流会もあり、情報交換や相談など有意義な集まりになったようです。



それぞれの取り組みについて発表を行う自治体担当者

## 令和8年度民間国際活動団体助成事業募集

青森県観光国際交流機構では、県内で国際交流・国際協力活動を行う民間団体が令和8年度に実施する事業に対し、助成金を交付します。

助成対象事業等の詳細は当機構のホームページをご覧ください。

- ・助成金額／対象経費の2分の1または10万円のいずれか少ない額
- ・募集期間／令和7年12月15日～令和8年1月31日 ※郵送の場合、最終日17:00必着
- ・選考委員会／令和8年2月中旬頃
- ・交付内定／令和8年3月上旬頃
- ・事業実施期間／令和8年4月1日～令和9年3月31日

### AOMORI Christmas Market 2025 in アスパム

12/12（金）～12/25（木）

青森県観光国際交流機構では12月12日（金）～12月25日（木）の期間で「AOMORI Christmas Market 2025 in アスパム」を開催します。

このイベントでは、大型クリスマスツリーの設置、ドイツ製のヒュッテとキッチンカーによるクリスマスフードの提供、冬の夜空を彩る打ち上げ花火など様々な企画が今年もクリスマスの雰囲気を盛り上げます。

さらに12月25日のクリスマス当日は、県内から集まった外国人と日本人が一緒にゴスペルを披露します。総勢30名の迫力いっぱいの合唱にご期待ください。

また、館内ではクリスマスにちなんだワークショップとして、「クリスマスリース」「クリスマスドーム」「オーナメント」などの手作り体験を無料で行います。

ブースにいる外国人の皆さんと、会話を楽しみながら交流しませんか。

#### ○オープニングセレモニー

12月12日（金） 17:45～ アスパム西側特設会場



#### ○冬花火 19:00頃（12日のみ18:00頃）

12月12日（金）～12月14日（日）

12月19日（金）～12月21日（日）

12月24日（水）・25日（木）

#### ●ゴスペル発表会

12月25日（木） 16:00～17:00 1階イベントホール

#### ●クリスマスワークショップ

クリスマスリース・クリスマスドーム・オーナメントなど

12月25日（木） 10:00～16:00（材料が無くなり次第終了）

1階フォレステージ前

## 就労について、こんな相談がありました

Q. 特定技能の在留資格で整備関係の仕事をしています。お盆で仕事が休みになる間、パートタイムで働くことはできますか。  
(相談者：フィリピン人労働者)

A. 特定技能はフルタイム雇用を前提としているため、原則としてパートタイムで働くことはできません（農業・漁業分野等の例外はある）。また、副業も認められていません。違反した場合は、在留資格の取り消しや強制退去に繋がる可能性があるため、絶対に避けてください。

## 外国人相談窓口について

「青森県外国人相談窓口」では、青森県内に住む外国籍の住民を対象に、日常生活での困りごとをサポートするため、相談窓口を開設しています。

また、「3者通話による通訳サービス」では、行政などの各種相談窓口、外国人住民、当機構の相談員が同時に繋がり、通訳を介して相談することもできます。19か国語で対応できます。

周囲の外国籍の方にぜひお知らせください。

## ❖ 相談対応曜日・時間・場所

月～金（土、日休み）10:00～17:00  
青森県観光物産館アスパム2階 国際交流ラウンジ

## ❖ 相談方法

対面  
TEL／017-718-5147（3者通話通訳サービスを含む）  
SNS／WeChat、Facebook（Messenger）  
(右の二次元コードからアクセスしてください)  
E-mail／lounge\_supporter@aomori-kanko.or.jp

## 相談員がいる曜日

中 国 語／月～金  
英 語／月、火、木、金  
タガログ語／月、火、木、金



WeChat



Facebook  
(Messenger)

## 世界で異なる表現～動物の鳴き声～



ギャウ（フィリピン）  
メオメオ（ベトナム）  
ヤオン（韓国）  
ミウミウ（イラン）  
ミアウ（コスタリカ）



ゴクゴク（インドネシア）  
ウッイッ（ベトナム）  
クルクル（韓国）  
ハリューハリュー（ロシア）



ピオピオ（コスタリカ）  
ピップピップ（ロシア）  
チップチップ（インドネシア）  
ツィートツィート（フィリピン）  
チェップチェップ（ベトナム）



チクチク（韓国）  
イーック（フィリピン）  
チッチッ（ベトナム）  
イッイッイッ（コスタリカ）



ウンメ（韓国）  
ムームー（ロシア）  
ウムボー（ベトナム）  
モオー（インドネシア）



ココペトック（インドネシア）  
ココデック（韓国）  
オーオーオー（ベトナム）  
キキリキ（コスタリカ）  
コトコトコダー（イラン）  
ティクティラーオク（フィリピン）



アウーム（インドネシア）  
ラール（ウクライナ）  
ガムグー（ベトナム）  
オフン（韓国）



イーグウグゥプー（ウクライナ）  
ヒー（インドネシア）  
イーゴゴー（ロシア）  
イーヘィー（フィリピン）



ケックケック（ベトナム）  
ウウアア（インドネシア）  
ウーウー（ロシア）



モンモン（韓国）  
ホップホップ（イラン）  
グックグック（インドネシア）

アウアウ（フィリピン）  
グウアグウア（コスタリカ）  
ガップガップ（ウクライナ）

# JICA海外協力隊隊員体験談



三浦李那 (弘前市出身)

2023年－2025年

任地：パラオ ガッパン州

職種：理科教育



私は2023年7月から、大洋州（オセアニア）にある国、パラオに2年間派遣されていました。派遣先はガッパン州のイボバンという、人口約50人程度の小さな村です。パラオと聞くと、綺麗な海を思い浮かべる方も多いと思いますが、イボバンは全長1kmほどの1本道しかなく、周りはすべてジャングル。唯一海に面しているところには、ワニやサメがいるワイルドな場所です。店や食堂は1軒もなく不便ですが、人は皆温かく、とても安全で平和な村です。

私はベラウ・モデクゲイ高校という全寮制の学校で、生徒と同じ敷地内に住みながら、理科の教員として働きました。私が着任した後に、日本大使館の支援で新しく理科室がオープンしたので、その管理も任されました。パラオでは、理科を専門とする先生が国内にほとんどいないこと、実験をするための設備が整っていないこと、実験するための薬品が国内で手に入らないことなどが理由で、理科教育（特に実験指導）が他国に比べて著しく遅っていました。そこで、私は教科書だけにとらわれず、実験を主軸にした指導を行い、興味関心を育てながら学習に集中できる環境づくりを意識しました。2年間で、主に9年生、10年生の理科の授業を担当していたほか、同僚の理科教員のクラスに実験指導で入ることもありました。

任期終了間際の5月には9年生と10年生は、国内の小学校でサイエンスショーを教員の手助けなしでできるまでに成長し、標準学力テストでもハイスコアをとることができたようです。

上手くいかないこともたくさんありましたが、辛い時ほどパラオ人の優しさに助けられました。「あなたは十分そのままで素晴らしい。」ということを、ことあるごとに伝えてくれて、日本にはない『おおらかさ』『ありのままを受け入れること』の大切さをパラオ人から学びました。

パラオ人は日本が大好きです。しかし、日本人でパラオについて知っている人は多くありません。この記事を読んでいる皆さん、ぜひ一度パラオに行ってみてください。派手なものはありませんが、美しい自然と人の温かさ、日本との歴史的繋がり、そしてゆったりした時間の流れがあります。



生物の授業で  
玉ねぎの細胞を観察



小学校での理科実験は、  
新聞にも掲載されました。

## ★JICA海外協力隊についてのお問合せ★

連絡先：[jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp](mailto:jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp) (JICA青森デスク 阿部)  
所 在：青森県観光物産館アスパム2階グローバルラウンジ内



## 県内の交流型日本語教室

交流型日本語教室の詳細は右の二次元コードよりご確認ください。



地 域	時 間	日 程	場 所
青森市	18:30~20:30	12/11 (木)	青森市役所 本庁舎
弘前市	18:30~20:30	12/19 (金)・1/16 (金)・2/20 (金)・3/13 (金)	弘前文化センター 3階
十和田市	13:00~14:30	3/8 (日) 予定	市民交流プラザ トワーレ
オンライン	20:00~21:15	12/4 (木)・12/18 (木)・1/8 (木)・1/22 (木) 2/12 (木)・2/26 (木)・3/12 (木)	二次元コード より申込 

## 県内の日本語教室

各教室に関する情報は右記の二次元コードよりご確認いただけます。



地 域	団 体 名	電 話 番 号	E-mail
青森市	青森日本語クラブ	090-2029-1218	aomori.nihongoclub2025@gmail.com
	国際文化交流クラブ (ICEC)	090-7660-1583	potlucksmore@yahoo.co.jp
	日本語学習支援「青い森」	090-3360-6541	yuyu64asayu@gmail.com
弘前市	弘前日本語クラブ	090-4049-0057	hnc1900@yahoo.co.jp
	弘前日本語ティールーム	090-5842-0672	hirosakinihongotearoom@hotmail.co.jp
	国際にほんご教育センター (IJEC)	0172-40-0042	i.nihongo.e.c@ijec.jp
	ひろだい多文化リソースルーム	0172-30-9145	info@hirodaimrr.or.jp
中泊町	中泊町文化観光交流協会	0173-57-9030	nctea.jimu01@gmail.com
八戸市	みちのく国際日本語教育センター (MIJEC)	080-6051-3109 080-6026-3109	michinokunihongo@gmail.com
三沢市	みさわ国際交流協会	080-6022-1349	misawa.mia@outlook.jp
六ヶ所村	国際教育研修センター	0175-73-8575	rokkasho.lounge@gmail.com
南部町	南部町国際交流センター	0178-38-5961	noson@town.aomori-nanbu.lg.jp

## 国際交流ラウンジ International Lounge

〒030-0803

青森市安方1-1-40 青森県観光物産館アスパム2F  
ASPM BLDG. 2F. 1-1-40. Yasukata, Aomori-shi.  
030-0803

TEL : 017-718-5147 FAX : 017-735-2067  
E-mail : lounge\_supporter@aomori-kanko.or.jp

※国際交流ラウンジカウンター／外国人相談窓口  
受付時間／10:00～17:00  
休 日／毎週土曜日・日曜日  
年末年始 (12/31～1/3)

## 編集・発行 Publisher

公益社団法人青森県観光国際交流機構  
国際交流グループ

〒030-0803 青森市安方1-1-40  
青森県観光物産館アスパム8F  
TEL / 017-735-2221 FAX / 017-735-2067  
E-mail : info\_kokusaikoryu@aomori-kanko.or.jp



Instagram



HP



Facebook